

報告2. スポーツ・インテグリティ関係

(1)「NO！スポハラ」活動の開始について

JSPO では、日本オリンピック委員会等、5 団体と共同で、令和5年4月25日から、スポーツにおける暴力、暴言、ハラスメント等の不適切行為をなくすための新たな活動、「NO！スポハラ」活動を開始した。

「スポハラ」とは、スポーツ・ハラスメントを略した造語であり、スポーツの現場において暴力、暴言、ハラスメント、差別など安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為のことを意味する。

本活動は、JSPO のほか、JOC、日本パラスポーツ協会(JPSA)、日本中学校体育連盟、全国高等学校体育連盟、大学スポーツ協会(UNIVAS)の5 団体、計6 団体が共同で取り組んでいく。

また、スポーツ庁に後援いただいているほか、日本スポーツ振興センターからはスポーツ振興くじ助成を受けるなど、それぞれご協力いただいている。

本活動の目的は、「スポハラ」をなくすこと。言い換えると、「だれもが安全・安心にスポーツを楽しめる社会」を目指すことを意味する。

この目的を実現するために、目標として、スポーツに関わる全員がスポハラはあってはならないもの、だめなもの、「NO！スポハラ」という価値観をもてるようになることを目指す。

具体的には、『いかなる理由でも、指導現場等における不適切行為はあってはならない』と考える人を100%にするという目標を立てている。

この目標に至るための活動内容として、スポハラについて関心をもってもらい、知ってもらい、学んでもらう、防止に向けた行動ができるようになるために必要な情報発信やイベントを実施することとしている。

<「NO！スポハラ」活動内容(令和5年度予定)>

- ① スポハラをなくしていく呼びかけに関するイベント【情報発信系】
- ② スポハラの問題が起こっていることを自分事として捉えるためのイベント【参加型系】
- ③ 既存事業の活用
- ④ 広報・PR

(山下理事)

「NO!スポハラ」は今後のスポーツ界にとって極めて重要な取組であり、メディアも非常に注目している取組だと思っている。現場での件数は減ってきていると思っているが、相談件数は増えている。相談件数が増えていることは良いことだと思っている。JSPO・JOC・JPSA の加盟団体への協力要請、例えば県スポーツ協会が主催するイベントのプログラムにはしっかりと掲載していただくなど、取組を周知していただくよう依頼する。加盟団体も一緒になって取り組むことで、よりこの活動が浸透していくのではないかと。

(岡常務理事)

加盟団体への発信については既の実施しており、各団体のホームページ等でも周知頂いている。今後、更に各団体においてホームページ等での発信が増えていくものと考えている。また、SNS での発信も始めており、今後さらに周知を強化していきたい。

(森岡専務理事)

加盟団体へは既に依頼をしているが、その先の市区町村体育・スポーツ協会や市区町村の競技団体、単位団体のスポーツ少年団なども含めて、地域スポーツの現場までは、まだまだ届いていないと思っている。加盟団体からさらにその先までこの取組が浸透するよう各団体と協力しながら取組んでいきたい。